



担当課	政策調整課
担当者	松尾
電話	(073) 435-1013
内線	2460

## 水辺を生かしたまちづくりについて

本市では「水辺を生かしたまちづくり」として、平成28年度からシンポジウムの開催や様々な社会実験を実施し、民間主導の水辺活用を推進してきました。

今年度は、水辺活用事業の事業性等について社会実験による更なる検証の深化を行うとともに、ワークショップなどでの議論を通じて官民の役割分担や未来像を実現する手段等について地域や関係団体等との合意形成を図り、目指すべき水辺のまちづくりの未来像である『水辺ビジョン』を策定します。

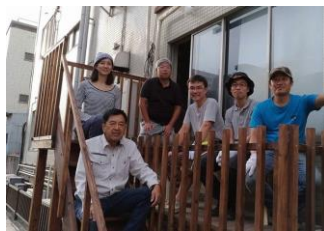
今年度の社会実験は以下などを予定しています。

### ●民間事業者等の水辺利用（机椅子、川床テラスなど）を促進

飲食店等の民間事業者に対して、市堀川沿いの水辺空間に机椅子や川床テラスを設置するなど、水辺活用を促します。



遊歩道へ机椅子を出した事例



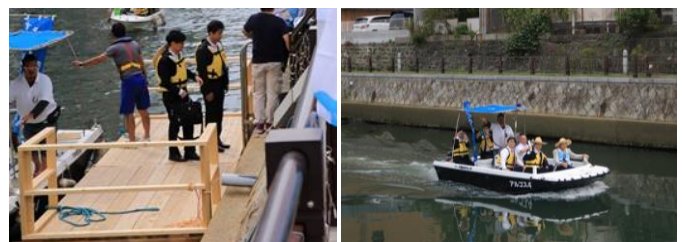
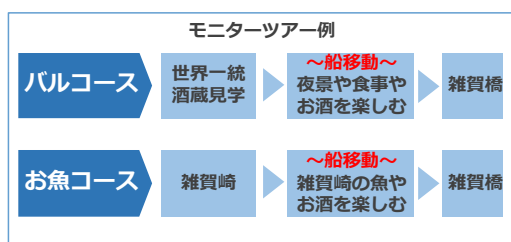
川床テラスを設置した昨年事例



大阪・北浜テラスでの川床テラスの事例

### ●クルーズツアーの事業化を検討

昨年度の社会実験において、クルーズについて利用者の評判は良かったものの、料金単価が300円から500円と低いため採算が取れませんでした。今年度は夜景や飲食を同時に楽しめる付加価値の高いクルーズモニターツアーをユタカ交通（株）と連携して、主に観光事業者向けに実施（7月中下旬頃を予定）し、観光商品化を目指します。また、一般利用者に対して城下町バルと連携した酒蔵クルーズツアーリズム（9月30日を予定）などを実施します。



昨年実施した京橋駐車場での浮棧橋、舟運クルーズ

なお、こうした社会実験を盛り上げるとともに、夜間の市堀川周辺の賑わい創出を図るため、イルミネーションの点灯を例年よりも早く5月25日（金）から実施しています。

点灯期間：30年5月25日（金）から平成31年3月31日（日）まで



京橋プロムナード



京橋駐車場付近



中橋

今後、社会実験結果を踏まえ、点灯の通年化や設備強化等の見直しを検討していきます。

### ●水辺環境学習の実施

伏虎義務教育学校において水辺について学ぶ授業を実施し、子どもたちの学習機会を設けるとともに、公立学校の「総合的な学習の時間」として一般化することを目指し、水辺について学べるプログラムを開発するなど、水質環境などへの意識向上のための啓発を進めてまいります。

- ・水辺のまなび～アクティブラーニング和歌山プログラム（仮）

（対象）伏虎義務教育学校第3学年

（実施時期）6月1日から全5回、15時間を予定

（学習内容）市堀川の生物調査や自然観察、

内川をきれいにする会による授業など



平成29年度に実施した水辺のまなび


また、社会実験や水辺ビジョンの内容などについて議論するため、市民や民間事業者の方々が自由に参加できるワークショップを実施します。

### ●第一回ワークショップ（仮）隠れたポテンシャルを探せ！水辺のことを知ろう。

日時：平成30年6月20日（水） 18時から

場所：LUIDA（ルイード）和歌山市十二番丁9 リヴァージュ十二番丁ビル201

内容：官民連携のまちづくりについての講演や、事務局によるこれまでの水辺事業の活動紹介、一般参加者によるグループディスカッションを実施。

	<p>講演 「あなたがやれば、わたしもやる。官民連携のまちづくりとは？」</p> <p>わかやま水辺プロジェクト プロデューサー <b>岩本 唯史氏</b></p> <p>建築家/株式会社水辺総研代表/「ミズベリングプロジェクト」ディレクター/水辺荘共同発起人 建築設計の傍ら、水辺の魅力を生み出す活動をライフワークにしている。横浜の水辺を使いこなすためのクラブ「水辺荘」を運営。2017年「これからの建築士賞」受賞。</p>
---	---

これらの取組みにより、来年度以降、民間事業者等による河川敷地を占用した川床テラスの設置やクルーズツアーの事業化等を目指し、水辺を活用したにぎわいの創出につなげてまいります。